医学部附属看護専門学校　入学式

やわらかな春風と暖かな日差しに恵まれ、４月２日、第58回医学部附属看護専門学校入学式を、昭和大学上條記念館（上條ホール）で挙行した。今年度は、新入生150名が、決意を胸に看護の道への第一歩を踏み出した。

小川良雄学校長は告辞で「本校の建学の精神〝至誠一貫〟と教育理念〝清楚な美〟に表現されるような看護師を目指し、自らの夢の実現のため、頑張ってほしい」と述べた。

その後、昭和大学久光正学長、小風暁医学部長、学校法人昭和大学小口勝司理事長から祝辞があり、新入生へ期待の言葉が送られた。

そして、世界的な医の倫理規定であるジュネーブ宣言と昭和大学の理念をもとに制定された昭和大学宣言を新入生代表の樫萌々南さんが壇上にて読み上げた。

告辞を述べる小川良雄学校長

昭和大学宣言を読み上げる樫　萌々南さん

昭和大学リカレントカレッジ　春期入学式

４月３日、上條記念館にて令和３年度昭和大学リカレントカレッジ春期入学式を挙行し、一期生として128名が入学した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインを併用しての開催となったが、本学の包括連携協定校である洗足学園音楽大学のチェリスト・荒庸子教授の演奏により、華やかな開会となった。

小川良雄プリンシパルは式辞で「リカレントカレッジは、医系総合大学である昭和大学の特長を活かし、学部・研究所・包括連携協定校より講師を招き、多彩なプログラムを取り揃えております。医療にとどまらず様々な分野を設け、二期制をとり、ハイブリット形式の講座を備えました。オープンエデュケーションとして、皆様に楽しんでいただきたい」と述べた。

また学校法人小口勝司理事長、昭和大学久光正学長より、知の探究に臨む一同を讃え、祝辞が寄せられた。入学生は今後、様々なジャンルより開講する多様なカリキュラムを受講し、本学の新しい学びの場で実践を重ねていく。

洗足学園音楽大学・荒教授による前奏

講師紹介

富士吉田キャンパスに新学生寮が完成

令和３年３月26日、富士吉田キャンパスに新たな女子寮「百合寮」が完成し、その竣工式が挙行された。

当日は晴天に恵まれ、富士山の雄大な景色を仰ぎつつ、定礎除幕式、神事、内覧会が執り行われた。

このたび竣工した百合寮は地上６階建てで、赤松寮、白樺寮、すみれ寮と同様に、学生４人につき、学習用・寝室用にそれぞれ一部屋が配置され、共同スペースとして、学習スペースやラウンジ、浴室などがある。浴室には昭和大学温泉が引き込まれ、毎日、温泉入浴を楽しむことができる。

令和３年４月、百合寮は初めて学生を受け入れ、一生の思い出となる１年次の寮生活がスタートする。

竣工した百合寮

定礎除幕式

百合寮から見た富士山

昭和大学助産学専攻科　入学式

４月３日、上條記念館にて令和３年度昭和大学助産学専攻科入学式を挙行し、助産師を志す13名が入学した。

久光正学長は告辞で「皆さんが一年間の学修を通して、お母さんや赤ちゃんに向きあう知識・技術・態度が大きく成長されることを祈念いたします」と述べた。

また、下平和久助産学専攻科長は挨拶で「昨年度はCOVID-19の影響で授業・実習ともに大きな変化を余儀なくされましたが、みなさんの先輩方は工夫を重ねながら課程をやり抜きました。社会の変化に対応できる、揺らぐことのない助産観を養い、ともに一つのゴールを目指していきましょう」と述べた。

本学で助産師を志す学生は、学士課程を卒業後、助産学専攻科に進学し、専門科目を一年間学修する。

挨拶を述べる下平和久助産学専攻科長

保健医療学部看護学科　日本看護学教育評価機構から「適合」と認証

保健医療学部　保健医療学教育学
教授　榎田めぐみ

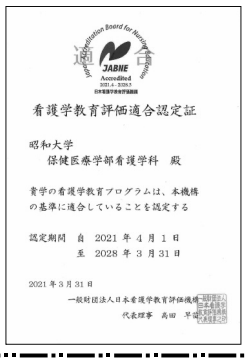
保健医療学部看護学科の教育課程が日本看護学教育評価機構による分野別評価で「適合」の判定を受けました。

先行する医・歯・薬学分野に続き、看護学分野においても２０１８年に、独立した第三者機関として一般財団法人日本看護学教育評価機構（Japan Accreditation Board for Nursing Education；JABNE）が設立されました。本機構の目的は、自己点検・評価に基づく看護学教育プログラムの公正かつ適正な評価等を行い、教育研究活動の充実と向上を図ることを通して、国民の保健医療福祉に貢献することであり、設立者は日本のほぼすべての看護系大学が加盟している日本看護系大学協議会（Japan Association of Nursing Programs in Universities；JANPU）です。２０２０年５月末で、ＪＡＮＰＵの会員校数は287校に上ります。

この分野別評価は、２０２０年が試行、２０２１年から本実施という形でのスタートで、全国の大学に先駆けて試行評価を受審し「適合」と認証されたのは本学を含め４校でした。

ＪＡＢＮＥによる看護学教育評価は、受審大学の自己点検・評価とそれに基づくピアレビューの過程で「受審校への質問書」、「質問書への回答書」のやりとりなど双方向性が重視され、受審大学と評価者の意思疎通が図れるような構図になっています。新型コロナウイルス禍において「実地調査」はＷｅｂ調査となりましたが、評価者とは建設的なディスカッションができたと実感しております。また、キャンパス内の様子を知っていただくために、動画や画像を用いた説明資料を作成し、実際の見学により近づけた形での実地調査になったと考えております。

教育課程においては、本学の特徴でもある学部連携教育、臨床教員制度の導入による充実した実習指導体制、指導担任制度による学生生活全般における手厚い個別支援が特に高く評価されました。今後も、本学における看護学教育の質を保証するために、気持ちを新たに尽力していく所存です。


看護学教育評価適合認定証

昭和大学
保健医療学部看護学科　殿

貴学の看護学教育プログラムは、本機構の基準に適合していることを認定する

認定期間　自　2021 年 4 月 1 日
　　至　2028 年 3 月 31 日

2021 年 3 月 31 日
一般財団法人日本看護学教育評価機構
代表理事　高田　早苗